

守谷市立黒内小学校

心と体の健康の推進～児童保健委員会による「スマイルプロジェクト」活動の取組を通して～

1 これまでの課題と活動のねらい

(1) 課題の把握と設定状況

本校は守谷駅周辺を学区とする、児童数1261名、職員数約100名の過大規模校である。

取組のきっかけは、令和5年5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行である。学校長から「学校だからこそできる、児童と先生、児童同士の触れ合いの場を増やし、思い出作りを充実させるチャンスが到来した。児童と一緒に考え、無理なく、そして前向きに対応していこう。」との方針が示された。それを受け、児童保健委員会に「今、自分たちにできることは何か」を投げかけた。「マスクはもう外していいのだから、そのことをアピールする」「人は笑うことで免疫力が高まるということを知ったことがあるから、笑顔を意識する」— 児童の前向きな発想に驚かされた。そして、保健委員会の児童が立ち上げた活動が「スマイルプロジェクト」。「黒内小学校をみんなの笑顔で、明るく元気いっぱいにしよう」という取組としてスタートして2年目に入った。

本校では「ウェルビーイング」をキーワードに教育活動を展開している。保健委員会の「スマイルプロジェクト」もそれと軌を一にし、児童の主體的な活動が活性化している。特に今年度は「自分のがんばりや成長、喜びをみんなと共有し、互いに認め合うことで、さらにみんなが笑顔で温かい気持ちになれるような学校にしよう」をテーマに、2年目の「スマイルプロジェクト」に引き継がれている。

(2) 活動のねらい

- ① 児童が自分のよさや自分らしさ、自分の夢などを共有し、認め合う活動を通して、本校におけるウェルビーイングの実現を図る。
- ② プロジェクト活動を通して、児童の課題に主体的に取り組もうとする態度、他の人に貢献しようとする意欲を育てる。

2 計画と実践の状況

(1) 計画

月	令和6年度 スマイルプロジェクト～折り紙編～
6月	メッセージカード（折り紙）を全校児童に配布する。（健康診断結果に同封）
7月	スマイルプロジェクトの紹介動画（内容とカードの作り方の説明）を作成し、校内放送で伝達する。
8月	折り紙メッセージカードの回収、整理を行う。保健委員会児童が、進捗状況を放送で紹介する。
9月	カードの回収終了。いくつかを校内放送で紹介する。
10月	全児童分のカードを虹の形にまとめ、職員室前の廊下に掲示する。

(2) 実践 資料①【令和6年度「スマイルプロジェクト」の実践記録】、②【令和6年度 学校保健委員会で使用した資料】

※令和5年度以前の実践は【参考資料】として添付。

3 成果と今後の課題

(1) 成果 ①～④：「活動のねらい①」に対する成果、⑤：「活動のねらい②」に対する成果

- ① 自分が幸せに思うことをカードに書いたことで、自分自身のウェルビーイングの状態を知ることができた。
- ② 全児童のカードを廊下に掲示したことで、他の児童がどんなことで幸せとを感じるのかを知ることができた。
- ③ 他の人のカードを見た児童が、「こんなときにうれしいって感じるんだね。」「この人、自分と同じだ！」など、互いに感想を伝え合い、学級や学年を越えて学校全体に広がる活動となった。
- ④ 「来年は保健委員会に入って、スマイルプロジェクトをやってみたい。」と言う児童も増え、心と体の健康に対する関心を高めることができた。
- ⑤ 折り紙カードの準備から、紹介動画の作成、カードの回収・整理、放送紹介、虹の掲示物の作成までの一連の活動を行う中で、「虹色の順番を調べてみるよ。」「この文章は明るく元気に読むといいね。」「掲示したらみんなびっくりするだろうな。」など、児童が意見やアイデアを積極的に出すようになった。これをきっかけとして、常時活動においても、進んで改善策を提案するようになり、児童が主体的に活動に取り組もうとする態度を育てることができた。

(2) 今後の課題

- ① 学校全体のウェルビーイングの向上のために、保健委員会としてできるプロジェクト活動の内容や、児童のアイデア、主体性を生かす委員会での指導・助言の在り方についてさらに追究する。
- ② 保健委員会の常時活動（手洗い石鹸液の補充、トイレの点検）の効率化、活性化のためにタブレットを活用するなど、委員会活動におけるICT機器の効果的な活用法について研究する。

資料①【令和6年度「スマイルプロジェクト」の実践記録】

- ①折り紙を準備・配布 夏休み前に、健康診断結果の封筒に同封して配布
- ②紹介動画作成

パワーポイントで作成した資料に、保健委員全員の声を録音しました。保健室ポータルサイトに掲載し、ハートの折り順や自分たちの思いを伝えました



協力して
さいごまで
がんばるぞ！

作業1	作業2	作業3	作業4	作業5	完成
集める	裏側のり	放送みつけ	放送	はる	全員で確認
月 日までに	月 日				



③折ってもらったハートの回収



37クラスを37名の委員が1クラスずつ担当しています。折り紙ハートがたくさん集まりました。

④ハートを大切に補強作業



1つつついいねいに、折り紙ハートが破れないように、のりで裏面を補強しました。

⑤放送原稿作成



折り紙メッセージを1枚ずつ読んで、放送原稿を作成しました。

⑥放送の練習



原稿ができ上がったら、放送の練習です。担当学年ごとのリーダーを中心に、繰り返し練習しました。

⑦のり付け作業



2000枚以上集まった折り紙ハートです。大切にのりで台紙に貼ります。空色の台紙に虹の形にして貼ることにしました。ハートを曲線を描いて貼ることがとても難しかったと感想で聞くことができました。休み時間を利用して、手際よく上手に貼ることができました。

⑧掲示



ラシヤ紙7枚の台紙をつなげると全部で6mになります。みんなで力を合わせて、掲示をします。掲示した直後の休み時間には、たくさんの児童が見に来てくれました。来校した方は、足を止めて見てくれています。保健委員会のがんばりです。



スマイルプロジェクト第1弾

「みんなでスマイル！黒内小スタイル動画作成」

新型コロナウイルスが5類になったことを受けて、これからの生活について再確認をするための動画作りをしました。いっぱい笑って、笑顔で生活することが、免疫力もあがりみんながし・あ・わ・せになることを伝えました。

その①
国の法律が変わり、**コロナがインフルエンザと同じ病気の種類になりました。**

その②
マスクは、あんしんして**はずしてだいじょうぶです。**

これが、黒内スタイルだ！

らっぱいわらおう
スマイル





スマイルプロジェクト第2弾

「スマイルロード作成・こころとからだ動画作成」

「ことばとからだ」の関係についての動画も作りしました。35人の保健委員会が声を録音しました。各クラスで見てもらいました。

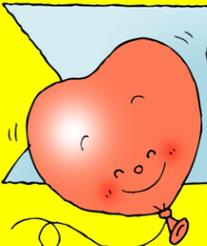
めだたかい！ことばがとびかう、黒内小学校をつくっていきましょう！

スマイルプロジェクト
スマイルロード 完成！

黒内小が、もっともっとあったかい学校になるようにというねがいを込めたプロジェクトです。友達や家族、先生からかけてもらったうれしい言葉をひとり1枚ずつカードに記入し、そのカードを保健室前に飾りました。児童全員のあったかいことばが飾ってあります。







ボランティア委員会とほけん委員会合同
おりがみプロジェクト

《ねらい》
お世話になっている方(学校医さんなど)へ、
黒内小の子どもたちが作ったツルとメッセージ
で感謝の気持ちをつたえよう。

作戦会議(さくせんかいぎ)開始!



サフライズでやりたいね。
よいアイデアあるかな?



ふたりの委員長が委員会
メンバーに企画を説明!

みんなで力を合わせ
成功させよう!!

協力するよ!!

やろう!!

いいね!!

おりがみとかいいよね!
ツルいいかも!!

作業のようす



なななんと!全部で
ツルが1875わ
あつまりました!

グルーガンを使って、
しっかりと
ツルを固定します。



みんながおってくれた
大切なツルです。
そっとだよ!



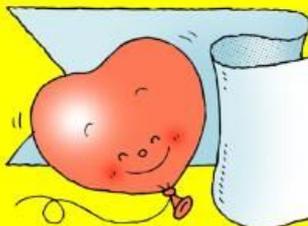
ボランティア委員会とほけん委員会合同
折り紙プロジェクト
「お礼をたくさん送ってあげて、おかげさす!」

1ね 2ね 3ね 4ね 5ね

ボランティア委員会と ほけん委員会合同プロジェクト



お世話になっている学校医さん方へ、感謝の気持ちを伝えようというプロジェクトです。全校生が折ったツルをつなぎ合わせてリースにしました。メッセージと一緒にサプライズで渡すことができました。



ボランティア委員会とほけん委員会合同 おりがみプロジェクト

